



JAL不当解雇撤回ニュース

No 083号 2011.11.29
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>

元気いっぱい頑張ってます! 原告団

- 連日全国を飛び回る原告団。今原告団は結審に向けて最終準備書の仕上げに取り組むとともに、各団
- 体に出向き、地裁あての公正判決を求める要請署名、支える会の会員拡大、12月6日の不当解雇撤回総決
- 起集会など、主な取り組みへの参加・協力を訴えています。こうしたオルグ活動に加え、学習会や原告団独
- 自の宣伝行動等にもこの間取り組みました。主な活動を紹介します。



目からうろこ! 10.28 学習会 講師は醍醐東大名誉教授

JALの経営を解く学習会。講師は裁判で証人にもなられた会計学の醍醐先生。原告も含めて140名が参加しました。片山元管財人の二枚舌証言を真っ向から切る内容や、事業規模の縮小以上に人員が削減されたこと、大幅な人件費の削減で利益を生みだしていること、現預金をANAの10倍も持っている等資金繰りはANAよりゆとりを持っていること等々、JALの真の経営実態が鮮明に。参加者は目からうろこでした。

また、廃止路線の貢献利益を試算すると本当に廃止する必要があったのか? 必要以上に路線縮小をしているのでは? という疑問が出てくるとの指摘がされる等、興味深いお話もありました。



10月30日にフリーマーケット 買って下さった方から励まされました

客室乗務員のOB・OGによる第2回目のフリーマーケットが行われました。商品を買に来て下さった方に、一言添えながら不当解雇撤回闘争のビラを渡しました。破綻した理由を聞かれたり、「本当にひどいね、負けないでね」などの励まし言葉やカンパを頂きました。売り上げはカンパを含めて約38万円。準備をして下さった方、素敵な商品を提供して下さいました。本当に有難うございました。残った商品は東日本大震災の被災地に送らせて頂きました。



人間への信頼が平和を守る 11月5日 三上氏の講演会



「9jyo-Sora」主催の講演会に原告団も参加。講師の三上満さんは、宮沢賢治の童話の世界と憲法9条と重ね合わせ、人間を信頼し合い、争いのない平和な世界の大切

さをお話されました。憲法は平和を支える9条だけではなく、国民主権や人間らしく生きられる権利等、素晴らしい条項がいっぱい詰まっており、参加者からは、「改めて世界に誇れる憲法を守らなくてはいけない」といった、多くの感想が寄せられました。また金八先生のモデルとなった三上氏の教師時代のお話も伺いました。

子供たちを競争に駆り立てる現代の教育。そこには子供たちへの信頼はありません。生徒への「信頼」に満ち溢れた三上さんの温かさに、皆さん大変感動しました。



日本のうたごえ祭典 5500名もの参加者から 元気をもらいました



11月19日、「2011年日本のうたごえ祭典inちば」の2日目。千葉ポートアリーナで行われた大音楽会「あなたとうたおう生命・平和・生きる」には5500人が集いました。原告団から26名が参加。1200人の大合唱団と共に、「あの空へ帰ろう」や「人間の歌」を熱唱。会場は熱気に包まれました。また、ロビーでは、裁判所宛ての要請署名活動に、バッジなどの物販も実施。たくさんの方に「頑張って!」と励まされ、元気と感動をもらいました。署名は963筆頂きました。



11月20日 品川 原告団総出で駅頭宣伝



11月20日、原告50人が品川駅港南口に繰り出し、お昼休みのサラリーマンなど、行きかう人たちに不当解雇撤回闘争への支援を訴えました。原告6名がマイクを握り、チラシも配布。短い昼休みの時間ではありましたが、立ち止まって、訴えに聞き入る人もいました。また、毎週木曜日には航空連・日東整争議団と共に、17:00~18:00の間、羽田空港にて支援を訴えるチラシの配布を実施しています。



支援へのお礼と復興支援を胸に参加しました 11月22日 農民連ふるさと見本市



当初より JAL 不当解雇撤回の闘いを支援して下さっている農民連のふるさと見本市。日ごろのご支援へのお礼と復興支援を胸に原告団も参加。お礼とともに100万人署名の願いをしました。皆さんから、「頑張ってください。応援していますよ」の言葉を頂きました。参加した原告もたくさんの野菜や果物、特産品を購入しながら、各地の皆さんとお話をする事ができました。また見本市の企画の一つ、野口邦和日大准教授による講演「放射能汚染と食べ物……今何が必要か」にも参加しました。